

重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」



学校通信

和がこれまで生きてきた中の記憶を辿つてみても、年が明けてからこれほどまでに積雪がないことは一度たりとも無かつたようには思いますが、雪かきをしなくてすむ分は樂ですが、何とも冬らしくありません。

さて、子どもたちはと、冬休みが終わり一月二十一日（火）の三学期始業式には、ほとんどの児童が元気な顔を見せてくれました。その表情からはどの子にとつても充実した冬休みだったことが窺われました。

終業式の際、学校通信の前号でも触りました「一年の計は元旦にあり」について子どもたちにもお話ししましたが、始業式の際に「今年一年の目標を決めましたか」、「三学期の目標を決めましたか」との問い合わせには、みんなの前で遠慮したのか、反応が乏しかったのが少々残念な気がしました。

三学期は、今年度一年間を締めくる大きな区切りとなる学期です。今年度のスタートの際に立てた目標を再確認したり、新たな目標を設定したりするなどして着実に取り組み、一年の終わるなどしてほしいと願っています。「何を頑張るのか」、それが「目標」ですから、目標がないと頑張れなかつたり踏み込めません。「目標」がきかなかつたりするのです。児童の皆さんに尋ねてみようと思ふと、目標は決まりましたか？」

目指すのはそれぞれの「有終の美」です。皆様のご理解とご支援のほどよろしくお願ひいたします。

校長

朴の花

NO. 11
R2.1. 31

楽しく租税教室

十一月十一日(水) 高学年の授業の一環として租税教室が行われました。老若男女を問わらず徴収されている税金に「消費税」がありますが、国や地方の生活基盤には「税金」が充当されていることなど、私たちの生活の身近にある制度だと思います。したがつて、社会生活を営む者にとつては納税者としての知識や意識は欠かせません。今回の租税教室では「税金の制度」や「税金の種類」、「税金の使い道」などについて、子どもたちにもわかりやすく説明をしたり、やさしく、クイズも盛り込まれていて楽しく学ぶことができました。

学習サポート実施

冬休み初日の十二月二十七日（金）、本校児童を対象に学習サポートを行いました。今回のサポート回数は暦の関係で一回だけでしたが、多くの児童が課題を持ち寄り、黙々と取り組んでいました。子どもたちは、わからないところがあると先生に聞いたり、先生に間違いを指摘されてやり直したりと、着実に課題の取組を進めていました。中には、「冬休みの宿題、もう終わっちゃうんじやないの」などと声をかけられている児童もいるなど、集中して取り組んでいました。

感染症予防のために

今年度、知内町内においては十二月中旬にインフルエンザの流行がピークとなり、町内の小中学校では、学級・学年鎖となつた学校もありました。幸い本校では蔓延することなく冬休みに入りましたが、まだまだ油断はできません。不要不急の外出を避け、やむなく人混みに入るときはマスクを着用し、外出から戻った際は、玄関に入る前にコートのほこりを払い、手洗い・うがい、顎まで洗うと予防効果が高いようです。

外国語活動のようす

保護者・地域の皆様もすでにご存じのことだと思いますが、本校では、中・高学年において「外国語」の授業を実施しています。毎週、水・木曜日に●●先生と●●●●先生に来校していただき、担任の先生とともに授業を行っています。中学年については「複式」で授業を行い、高学年については五・六年生を別々にした「単式」の形態で授業を行っています。楽しく学習活動を行っています。

ひまわりの種クイズ

【二月の行事予定】

収穫し、教室前廊下のホールに展示し、
ぱッと見た感じで「種の数は何個ある
か」を当てるというものでした。全校児
童と教職員がクイズに応募しましたが、
その結果が発表されました。奇跡的な
ピタリ賞」はありませんでしたが、●年
生の●●●さんが数個違いの「ニアピ
ン賞」を受賞し、見事に優勝しました。

【一月の行事予定】

五 日	四 日	六 日	七 日	十 日	(月)	新 一年生体験入学
(水)	(火)	(木)	(金)	(火)	(火)	建國記念の日
全校朝会	なわとび大会	クラブ⑧				
スギリ授業③						
二十八日	二十九日	三十日	三十一日	三十二日	三十三日	三十四日
(金)	(火)	(木)	(金)	(木)	(日)	(月)
授業参観④・全	S A Q⑩	さよなら集会	児童会選挙	振替休業日	天皇誕生日	振替休日

主体懇談・学級懇談

重点教育目標「主体的に学び自信と意欲あふれる湯ノ里の子ども」

「その時」への備えについて、ご家庭においても話し合い、避難場所や連絡方法、緊急時の持ち出し品などについて、日頃から確認しておくことが大切だと思います。



冬季避難訓練実施

一月二十七日（月）、湯ノ里保育所と
合同の避難訓練が実施されました。今回
は地震による校舎の損壊を想定し、搖
れが収まつてから屋外へ速やかに
避難するというものでした。避難場所へ
の避難が緊急放送で指示され、児童
及び園児の避難行動が完了するまでの
所要時間は「一分四十六秒」でした。ま
た、行動中はおしゃべりする声も一切聞
こえず、見事な「合格」でした。

学校や保育所にいるときは身近に先生
がいますので、まずは「落ち着いて先生
の指示を聞く」、そして、「落ち着いて行
動する」を徹底することが大切であり、訓
練によって身につけたい大切な力は、い
ざという時に、それこそ自分一人しかい
ない状況でも「自分の命を守る行動」を
取れる力だと考えています。

近年の震災を思い起すと、まだ記憶
に新しい「東日本大震災」は平成二十三
年三月十一日、「阪神・淡路大震災」は
平成七年一月十七日に発生しています。
いずれも冬季に発生し、幸いにも命拾
いをした被災者の方々は、避難所での寒
さや狭さ、不便さ、衛生面にとても苦労

食育「ベニ餅」作り

食育「パン・餅」作り

冬休み明けの一月二十二日（水）から今シーズンのスキー授業が予定されていましたが、近年稀に見る雪不足により、第一回目と第二回目のスキー授業は残念ながら中止となつてしましました。

昨年末には、町内スキー場がリフトの不具合により今シーズンのクローズが決まりたため、木古内町ふるさとの森スキー場に変更して実施を予定していましたが、雪不足は全国的にどこの地域でも深刻なようで、雪を必要とする冬のイベントは、各地で軒並み中止となつていています。本校の子どもたちもスキー授業を楽しみにしているため、今後の（適度な）降雪に期待したいところです。

今後の予定として、第三回目のスキー授業を二月四日（火）に予定しており、二月十五日（土）には、七飯スノーパークでのスキー遠足を予定しています。

NO. 11
R2.1.31

冬季も体力づくり

冬期間は、寒さや積雪のため、屋外で遊ぶなどの運動する機会が減るため、北国の子どもたちの体力は、全国と比較すると低い傾向があると言われています。本校では、これまでに紙面で紹介したとおり、町教委社会教育課の協力で、毎月一回のペースで S A Q を実施し、遊びやゲーム感覚で楽しく体を動かすことで体力・運動能力の向上を図っています。また、現在は、二月六日（木）に予定されている「縄跳び大会」に向けて、中休みの時間を利用した練習が体育館にて行われており、子どもたちは「一回でも多く跳べるよう」と一生懸命に取り組んでいます。

今年度実施した「全国体力・運動能力調査」の結果が明らかになりましたが、調査対象である五年生を含めた全児童の体力・運動能力は全体的に優れていると言えます。が、あえて課題を挙げれば「持久力」であると言えます。「敏捷性」や「柔軟性」ももう少し高めたいところですが、今の取組を継続することで確実に高められると考えています。家庭でもできる運動は、是非、取り組んでみてほしいと思います。

自由研究発表会

小学校電話
6-2011
保育所電話
6-2002

湯ノ里小学校
は、地域とともに歩みます

研究発表会が行われました。夏休み後の発表会も力作揃いで見応えのあるものでしたが、今回はさらにレベルアップした作品が多数見られました。中でも、プログラミングの学習成果を生かし、試行錯誤を繰り返しながら作り上げた児童がいたり、一枚の板を作り一人でオリジナルのTVゲームを寸分狂わぬ作業で切り分け、正確に組み立てて本棚を作り上げるなど、苦労を重ねて完成したことがよくわかる作品が多くつたです。

品が多かったです。

発表会の終わりの講評で、かの有名な「トーマス・エジソン」の話をしましたが、エジソンは白熱電球を完成させることで二万回以上の失敗を繰り返したそうです。ここで大切なのは、失敗を繰り返すごとに「進歩」したところです。失敗から学び、進歩はすい歩するけど、また失敗し、また学んでいます。まさに「失敗は成功の基」ですね。